第16回全国計量士大会開く

2月23日、ホテルインターコンチネンタル東京ベイで約180名参加

「新計量制度に対応する計量士の使命」テーマに

日本計量振興協会（日計振）は「第16回全国計量士大会」を、2月23日、東京都港区のホテルインターコンチネンタル東京ベイで開催し、約180が参加した。今回のメインテーマは「新計量制度に対応する計量士の使命」。計量法政省令が改正され、指定検定機関の検定担当任務を始め適正計量管理事業所における自動はかりの計量管理など、計量士に新たな役割が加わり、取り巻く環境、期待される役割も大きく変貌していることに応えた。懇親会を開催し、交流を深めた。

阿知波部会長

鍋島日計振会長

吉岡計量行政室長

5地区6名の気鋭の計量士が発表

総合司会は加藤徳文同会計量士部会委員。阿知波正之計量士部会長が開会あいさつした。鍋島孝敏日本計量振興協会会長が主催者あいさつをした。来賓を代表して、吉岡勝彦経済産業省計量行政室室長があいさつし、大会への期待を述べた。

■日計振の取り組みを報告

河住春樹専務理事が「一般社団法人日本計量振興協会の計量士関係事業取り組み状況」と題して、同会の計量士に関する事業の遂行状況等を中心に状況報告した。

河住氏は、「自動はかりの計量管理技術講習会」を自動補足式はかり検定技術基準（JIS）発行以降に計画していることや、2018（平成30）年6月以降に「計量団体向けの指定検定機関に関する説明会」を計画していると述べた。

■各地区からの報告は初めて

意見交換の今回のメインテーマは「新計量制度に対応する計量士の使命」。コーディネータは、金井一榮埼玉県計量協会会長（計量士部会委員）。

今回は初めての試みとして、全国各地区で活躍する計量士が事前に地区で取りあげた課題、将来展望などについて意見交換し、取りまとめた内容を各ブロックの新進気鋭の計量士を中心に、5地区6名が発表した。

TANITA
デジタルスケール
見やすい
バックライト付
大型表示
TL-280
¥33,000(税抜)

討議の時間は少なかったが、共通認識とともに各地域間の認識や活動の違い等も明らかになり、「初めて聞いたこともあり、有意義な試みだった」と金井コーディネーターは述べた。

■報告1「東北・北海道地区：新計量制度に対応する東北・北海道の取り組みについて」安藤寿啓（山形県計量協会、計量士）

今後の課題として、①計量士の確保、高齢化、②新規事業の開拓をあげた。山形県の新規事業への取り組みとして、①分銅および計量器校正②JCSS登録・認定事業者をあげ、新計量制度へ向けての計量士の役割として、自己研鑽、規定の厳格遵守と使命感、資質の向上を示した。

■報告2「関東地区：計量士の現状と課題」横須賀英樹（神奈川県計量士会、計量士）、共同制作者（小川惣太、畦本勝也）

自動はかりの問題点として情報不足などをあげた。現状の計量管理実務などを紹介し、新制度移行への課題として▽標準偏差の認知の低さ▽ウェイトチェッカーの速度変化によるばらつきの違い▽ウェイトチェッカーの個装の設置面の違いによる影響▽ウェイトチェッカーのトレーサビリティを指摘した。

計量士の活躍の場として、知名度向上の必要性、計量士業務の確保、大手企業では血圧制限、年齢制限がある場合があることを紹介し、若手計量士の育成・活躍の場を広げる必要性を述べた。

■報告3「中部地区：事業所の自動はかりの計量管理の現状と新計量制度への対応」廣瀬幸造（愛知県計量士会、計量士）

▽中部地区の活動：中部7県計量協議会▽愛知県計量士会における活動▽これからの重要課題↓自動はかりの管理▽現状の自動はかりの事業所における管理（現状の自主管理の状況）▽新計量制度への対応（適正計量管理事業所として管理への移行）を報告した。

穀類（受入または出荷）の計量に使用するホッパースケール、製品（製粉・飼料）の自動充填に使用するパッカースケール、製品（製粉・飼料等）の出荷検査に使うウエイトチェッカーを紹介し、自動はかりの現状の計量管理として、①自主検査の実施②商品量目検査を説明した。

自動はかりの量目管理の留意点を示し、新制度の管理の課題として、▽検査方法について＝JISに基づく自主検査の実施▽適正計量管理事業所での計量士の役割＝計量士による計量管理の有意性のアピール、自動はかりを使用する適正計量管理事業所に対応できる計量管理技術の向上、を指摘した。

■報告4「近畿地区：自動はかりの検定制度導入と計量士の役割」吉永高志（京都府計量協会、計量士）

①京都府計量士部会は、自動はかりの指定検定機関の指定を受けることを検討中であるとし、さまざまな運営形態を考察した。指定に向けて▽自動はかりを使用する事業所への適正計量管理事業所のメリットの普及活動・計量管理の推進▽指定検定機関の指定取得の検討・準備▽自動はかりの計量管理および検査・検定業務ができる計量士の育成②計量士として準備すべきこと：自動はかりの計量管理等に主体的・積極的に取り組む＝▽自動はかり関連、特に今後予定されているJISやQ&Aの内容を積極的に情報収集する▽産総研・日計振・地域計量団体がおこなう自動はかりの研修会を活用し、自身のスキルアップを図る▽適正計量管理事業所に対して付加価値を与えられるような計量士を目指し自己研鑽する、とした。

（次号以下へつづく）

今週の主な記事

全国計量士大会開く　①面
自動はかりにおける取引・証明事例集　②③面
計量関連団体・学会の新年あいさつ　④面
田中舘愛橘をさぐる(5)　⑤面
連載寄稿「廣田茂」(3)　⑥面
社説、第3四半期決算（チノー）　⑦面
第3四半期決算（エー・アンド・デイ。長野計器）、機械受注統計、寄稿「林稔」(3)　⑧面

日本計量新報
計測と科学
毎週日曜日発行
日本計量新報社
東京都千代田区神田錦町3-11-8（武蔵野ビル）
〒101-0054 TEL 03-3295-7871
FAX 03-3295-7874
http://www.keiryou-keisoku.co.jp/
振替口座　00140－5－12935
購読料年間25,000円（消費税別）

定量計量専用機
Pack NAVI
速くハカル、
楽にツメル
Yamato
大和製衡株式会社　tel:078-918-5577
http://www.yamato-scale.co.jp/

PDX パワートラックスケール
～新技術採用ロードセル使用～
TANAKA
「はかる」を支える。タナカの技術
和算箱不要
◎ 保護等級 IP68・IP69K
◎ 落雷に強い耐久性
◎ 過荷重に強い
リモートモニタリング
自己診断機能
国内初！ 10年保証プランをご提案。
株式会社田中衡機工業所
URL http://www.tanaka-scale.co.jp/
本社・新潟支店　〒959-1145　新潟県三条市福島新田丙2318-1　TEL：0256-45-1251　FAX：0256-45-2204
東京支店　〒101-0061　東京都千代田区三崎町2-6-7　TEL：03-3263-4531　FAX：03-3262-6918
関西支店　〒564-0063　大阪府吹田市江坂町2-13-2　TEL：06-4861-2266　FAX：06-4861-2277
東北営業所　〒983-0021　宮城県仙台市宮城野区田子3-1-5　TEL：022-388-6401　FAX：022-388-6402
福岡営業所　〒816-0823　福岡県春日市若葉台西6-47　TEL：092-572-1822　FAX：092-571-2462